



## 2017年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2017年1月30日

上場会社名 山洋電気株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6516 URL http://www.sanyodenki.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山本 茂生  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部門担当 (氏名) 北村 恵一 (TEL) (03)5927-1020  
 四半期報告書提出予定日 2017年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2017年3月期第3四半期の連結業績(2016年4月1日~2016年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2017年3月期第3四半期	54,093	△10.0	3,127	△22.8	3,423	△19.1	2,503	△8.7
2016年3月期第3四半期	60,108	△10.6	4,053	△21.5	4,232	△30.2	2,741	△36.0

(注) 包括利益 2017年3月期第3四半期 4,114百万円(58.7%) 2016年3月期第3四半期 2,592百万円(△59.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2017年3月期第3四半期	40.87	—
2016年3月期第3四半期	44.14	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2017年3月期第3四半期	87,287	54,589	62.5	892.71
2016年3月期	84,945	52,099	61.3	838.80

(参考) 自己資本 2017年3月期第3四半期 54,582百万円 2016年3月期 52,092百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2016年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
2017年3月期	—	9.00	—	—	—
2017年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2017年3月期の連結業績予想(2016年4月1日~2017年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,300	2.5	6,700	25.4	6,700	24.4	4,600	24.8	75.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2016年5月25日開催の取締役会決議に基づき、自己株式957,000株の取得を行っています。これにより2017年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」につきましては、当該自己株式取得を考慮して調整しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) , 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2017年3月期3Q	64,860,935株	2016年3月期	64,860,935株
2017年3月期3Q	3,718,527株	2016年3月期	2,757,424株
2017年3月期3Q	61,251,527株	2016年3月期3Q	62,108,010株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、市場が回復しつつある半面、新興国経済の減速やそれに伴う設備投資の鈍化など、改善の遅れも見られました。

そのような中で、当社グループの主要な販売市場である工作機械、ロボット、半導体製造装置などの設備産業業界においては、需要が堅調に推移しましたが、太陽光発電用パワーコンディショナ向けの需要が減少しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は54,093百万円（前年同期比10.0%減）となり、連結営業利益は3,127百万円（前年同期比22.8%減）、連結経常利益は3,423百万円（前年同期比19.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,503百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

受注高は56,011百万円（前年同期比7.0%減）、受注残高は13,823百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

#### ①日本

日本には、当社および連結子会社の山洋工業株式会社、山洋電気テクノサービス株式会社があります。セグメント売上高は54,679百万円（前年同期比8.2%減）となり、セグメント利益は2,139百万円（前年同期比25.4%減）となりました。

#### ②北米

北米には、連結子会社のSANYO DENKI AMERICA, INC. があります。セグメント売上高は7,114百万円（前年同期比11.5%増）となり、セグメント利益は379百万円（前年同期比102.1%増）となりました。

#### ③ヨーロッパ

ヨーロッパには、連結子会社のSANYO DENKI EUROPE S.A. およびSANYO DENKI GERMANY GmbHがあります。セグメント売上高は3,280百万円（前年同期比6.0%減）となり、セグメント利益は216百万円（前年同期比9.1%減）となりました。

#### ④東アジア

東アジアには、連結子会社の山洋電気（上海）貿易有限公司、山洋電気（香港）有限公司、台湾山洋電気股份有限公司、SANYO DENKI KOREA CO., LTD.、上海山洋電気技術有限公司、山洋電気貿易（深圳）有限公司、中山市山洋電気有限公司および山洋電気精密機器維修（深圳）有限公司があります。セグメント売上高は8,640百万円（前年同期比8.2%減）となり、セグメント損失は140百万円（前年同期はセグメント利益90百万円）となりました。

#### ⑤東南アジア

東南アジアには、連結子会社のSANYO DENKI PHILIPPINES, INC.、SANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD.、SANYO DENKI INDIA PRIVATE LIMITEDおよびSANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD. の子会社であるSANYO DENKI (THAILAND) CO., LTD. があります。セグメント売上高は12,104百万円（前年同期比2.2%減）となり、セグメント利益は283百万円（前年同期比34.1%減）となりました。

また、事業部門別の営業概況は次のとおりです。

①クーリングシステム事業

クーリングシステム製品「San Ace」は、ファクトリーオートメーション業界向けに、特にスマートフォン関連の設備投資需要が増加し、加えて情報通信向けやデータセンタ用サーバ向けの需要が堅調に推移しました。一方、太陽光発電用パワーコンディショナ向けの需要が減少しました。

その結果、売上高は16,309百万円(前年同期比1.3%増)、受注高16,169百万円(前年同期比0.4%増)、受注残高3,057百万円(前年同期比4.2%増)となりました。

②パワーシステム事業

パワーシステム製品「SANUPS」は、太陽光発電の固定価格買取制度市場の停滞が続き、パワーコンディショナの需要が減少しました。一方、生産設備向け無停電電源装置やファクトリーオートメーション業界向けの瞬時電圧低下補償装置の需要は、堅調に推移しました。

その結果、売上高は6,250百万円(前年同期比18.6%減)、受注高7,032百万円(前年同期比22.4%減)、受注残高3,043百万円(前年同期比17.1%減)となりました。

③サーボシステム事業

サーボシステム製品「SANMOTION」は、半導体関連の設備投資が引き続き活発で、半導体製造装置およびロボット向けの需要が堅調に推移しました。加えて、中国でのスマートフォンの設備投資が回復傾向にあり、工作機械、一般産業機械、チップマウント向けの受注が増加しました。

その結果、売上高は26,035百万円(前年同期比6.7%減)、受注高27,544百万円(前年同期比6.2%増)、受注残高6,404百万円(前年同期比50.4%増)となりました。

④電気機器販売事業

産業用電気機器、制御機器および電機材料の販売は、一般産業機器や医療機器が堅調に推移し、半導体関連も回復基調となりましたが、電力関連と鉄道関連は依然低調で、特に太陽光発電関連の需要が大きく減少しました。

鉄鋼関連事業においては、重要生産設備の老朽更新や補修用予備品の需要が旺盛でした。

その結果、売上高は3,709百万円(前年同期比44.9%減)、受注高3,568百万円(前年同期比49.8%減)、受注残高652百万円(前年同期比37.4%減)となりました。

⑤電気工事事業

製鉄所内における工場設備の更新工事および補修工事は、計画どおりに実施されました。一方、太陽光発電設備の工事は、太陽光発電の買取価格の低下の影響により受注、売上とも減少しました。

その結果、売上高は1,788百万円(前年同期比6.4%増)、受注高1,695百万円(前年同期比14.0%減)、受注残高665百万円(前年同期比26.6%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間における財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産で2,341百万円の増加、負債で148百万円の減少、純資産では2,489百万円の増加となりました。

総資産の主な変動要因は、電子記録債権の増加2,225百万円、投資有価証券の増加1,760百万円、受取手形及び売掛金の減少1,116百万円によるものです。

負債の主な変動要因は、支払手形及び買掛金の減少2,071百万円、電子記録債務の増加1,196百万円、短期借入金の増加641百万円によるものです。

純資産の主な変動要因は、利益剰余金の増加1,393百万円、その他有価証券評価差額金の増加1,233百万円、自己株式の増加514百万円によるものです。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、13,376百万円となり、前連結会計年度末より633百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の営業活動による資金の増加は、3,210百万円(前年同期間は2,454百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3,421百万円、減価償却費1,614百万円、仕入債務の減少額1,037百万円によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動による資金の減少は、1,350百万円(前年同期間は1,686百万円の減少)となりました。これは主に、生産設備等の有形固定資産の取得による支出902百万円によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動による資金の減少は、1,361百万円(前年同期間は1,700百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払額1,110百万円、短期借入金の増加額961百万円、長期借入金の返済による支出580百万円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2017年3月期の業績予想につきましては、2016年4月27日に公表しました通期業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,213	14,114
受取手形及び売掛金	20,393	19,277
電子記録債権	3,412	5,637
商品及び製品	5,757	5,220
仕掛品	3,245	3,603
原材料及び貯蔵品	7,042	7,103
未成工事支出金	249	171
未収入金	360	376
繰延税金資産	762	663
その他	925	535
貸倒引当金	△24	△25
流動資産合計	55,339	56,680
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,483	9,397
機械装置及び運搬具（純額）	2,833	2,649
土地	6,450	6,465
建設仮勘定	516	494
その他（純額）	1,104	1,019
有形固定資産合計	20,388	20,026
無形固定資産	489	534
投資その他の資産		
投資有価証券	5,382	7,143
繰延税金資産	651	195
その他	2,712	2,727
貸倒引当金	△17	△19
投資その他の資産合計	8,728	10,046
固定資産合計	29,606	30,607
資産合計	84,945	87,287



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,701	10,629
電子記録債務	1,922	3,119
短期借入金	6,816	7,457
未払法人税等	220	348
繰延税金負債	3	4
役員賞与引当金	89	55
その他	4,085	4,525
流動負債合計	25,839	26,139
固定負債		
長期借入金	514	256
リース債務	304	206
繰延税金負債	0	9
再評価に係る繰延税金負債	840	840
退職給付に係る負債	5,347	5,245
固定負債合計	7,007	6,558
負債合計	32,846	32,698
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,926	9,926
資本剰余金	11,460	11,460
利益剰余金	29,998	31,392
自己株式	△919	△1,434
株主資本合計	50,466	51,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,220	2,453
土地再評価差額金	936	936
為替換算調整勘定	1,365	1,547
退職給付に係る調整累計額	△1,895	△1,699
その他の包括利益累計額合計	1,626	3,236
非支配株主持分	6	6
純資産合計	52,099	54,589
負債純資産合計	84,945	87,287

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
売上高	60,108	54,093
売上原価	46,073	41,662
売上総利益	14,034	12,430
販売費及び一般管理費	9,981	9,303
営業利益	4,053	3,127
営業外収益		
受取利息	29	21
受取配当金	113	122
為替差益	-	53
受取賃貸料	61	61
その他	113	70
営業外収益合計	318	329
営業外費用		
支払利息	45	24
為替差損	76	-
その他	17	8
営業外費用合計	139	33
経常利益	4,232	3,423
特別損失		
固定資産除却損	-	2
特別損失合計	-	2
税金等調整前四半期純利益	4,232	3,421
法人税、住民税及び事業税	772	945
法人税等調整額	718	△27
法人税等合計	1,490	917
四半期純利益	2,741	2,503
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,741	2,503

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
四半期純利益	2,741	2,503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△158	1,233
為替換算調整勘定	△141	181
退職給付に係る調整額	149	195
その他の包括利益合計	△149	1,610
四半期包括利益	2,592	4,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,591	4,113
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,232	3,421
減価償却費	1,439	1,614
売上債権の増減額 (△は増加)	3,271	△981
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△593	201
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,066	△1,037
その他	△559	546
小計	5,724	3,766
法人税等の支払額	△3,360	△671
その他	90	115
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,454	3,210
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,558	△902
その他	△127	△448
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,686	△1,350
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	512	961
長期借入れによる収入	21	-
長期借入金の返済による支出	△853	△580
配当金の支払額	△1,117	△1,110
自己株式の取得による支出	△6	△514
その他	△257	△117
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,700	△1,361
現金及び現金同等物に係る換算差額	△104	134
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,037	633
現金及び現金同等物の期首残高	13,151	12,743
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,114	13,376

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計
売上高						
外部顧客への売上高	42,987	6,334	3,467	6,413	906	60,108
セグメント間の内部売上高または振替高	16,560	48	23	2,998	11,467	31,098
計	59,548	6,382	3,491	9,412	12,374	91,207
セグメント利益	2,867	187	238	90	430	3,814

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,814
セグメント間取引消去	238
四半期連結損益計算書の営業利益	4,053

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、当社および国内連結子会社は一部の有形固定資産について定率法を採用していましたが、前第1四半期連結会計期間より定額法に変更しています。

この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、前第3四半期連結累計期間のセグメント利益は「日本」で162百万円増加しています。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計
売上高						
外部顧客への売上高	36,950	7,070	3,258	5,911	901	54,093
セグメント間の内部売上高または振替高	17,729	43	21	2,728	11,202	31,725
計	54,679	7,114	3,280	8,640	12,104	85,819
セグメント利益又はセグメント損失(△)	2,139	379	216	△140	283	2,879

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,879
セグメント間取引消去	248
四半期連結損益計算書の営業利益	3,127